

☆市町村編を読み始める前に…
ちょっと休憩しませんか？

～もっと知りたい！新潟県あれこれコラム～

様々な統計から読み取れる新潟県の特徴について、5つのテーマでコラムにしました。イメージどおりの内容から、意外な事実？まで取り上げています。初めて見る新潟県の姿も、あるかも？



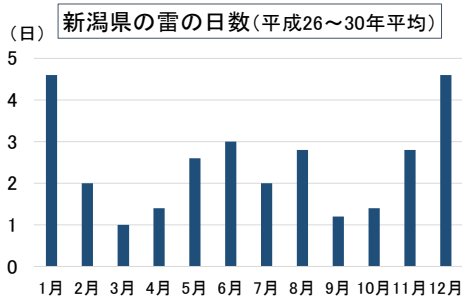
【1. 気象】新潟県は、○の日が多い！冬は特に注意

新潟県の気象について、どのような特徴が思い浮かびますか？意外と知られていない？雷の日の多さに注目してみます。

過去5年間（平成26～30年）の気象庁の資料をみると、新潟県の「雷の日数」は、連続して全国10位以内にランクインしています（都道府県編／指標編 4頁「5 雷の日数」参照）。

ちなみに、ランクインの常連の県は、新潟県のほか、秋田県、石川県、福井県と、軒並み日本海側の県となっています。これは、大陸から吹き出してきた寒気が日本海で暖められて積乱雲が発生するためです。

それでは、1年のうち、いつ雷が多いのでしょうか？月別データ（平成26～30年平均）をグラフでみてみましょう。



左のグラフから、冬期に雷が多い傾向があることがわかります。

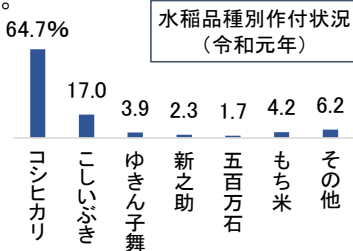
日本海沿岸の冬の雷は、夏の雷に比べて放電の数が少ないものの、1回あたりの雷の電気量が多く、落雷すると被害が大きくなりやすい特徴があるといわれています。雷が近づいてきたら、早めに安全な建物に避難しましょう。

（資料：気象庁HP）

【2. 農業】新潟県といえば、やっぱり美味しい〇〇〇〇〇

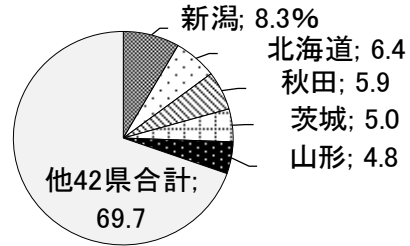
新潟県は米どころとして有名ですが、統計をみても、全国1位の作付面積及び収穫量（令和元年）、産出額（平成30年）となっています。

そのうち、産出額の全国シェアをグラフ（右）にしてみると、上位5県（1位：新潟県、2位：北海道、3位：秋田県、4位：茨城県、5位：山形県）だけで全国の4分の1以上を占めていることがわかります。



※県農産園芸課推定値

米産出額の全国シェア（平成30年）



では、つくられているお米の品種をみてみましょう。左のグラフをみると、コシヒカリの作付比率が最も高く半数以上を占めています。

平成29年に新品種としてデビューした、新之助にも注目していきたいですね。

（資料：農林水産省「作物統計調査」, 「生産農業所得統計」, 県農産園芸課HP）

【3. 教育】新潟県は〇〇学校への進学率全国1位！

高校卒業後の進学先には大学や専修学校などの選択肢がありますが、そのうち専修学校（専門課程）への進学率（※1）をみると、新潟県が全国1位となっています。

新潟県には専修学校が多いのでしょうか？新潟県の専修学校数をみると、84校（令和2年5月1日現在速報値）で、全国11位となっています。全国順位からは、飛び抜けて多いとはいえませんね。

では、高校3年生（※2 全日制・定時制。定時制は4年生も含む）千人当たりの数を算出してみましょう。全国2位の4.8校となります。高校卒業生数からみて、新潟県の専修学校数は比較的豊富といえます。

（資料：文部科学省「学校基本調査」）

専修学校（専門課程）進学率[上位5県]

順位	都道府県	進学率 (%)
1	新潟	26.00
2	沖縄	24.11
3	長野	21.97
4	北海道	21.77
5	島根	21.28

（※1）平成31年3月高校卒業生（全日制・定時制）

専修学校の学校数

高校3年生（※2）千人当たりにてみると…

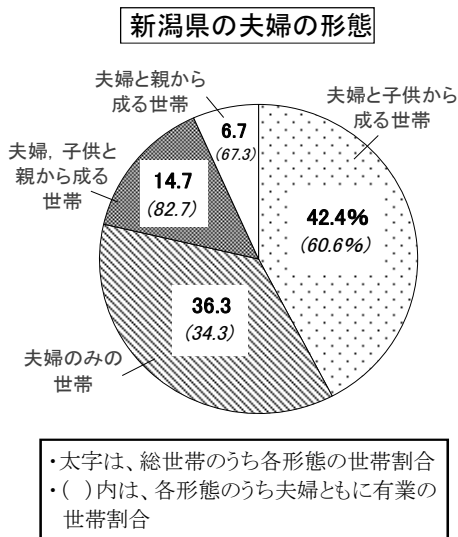
順位	都道府県	学校数
1	東京	404
2	大阪	224
3	愛知	175
11	新潟	84
47	徳島	15

順位	都道府県	学校数
1	大分	5.0
2	新潟	4.8
3	鳥取	4.7
45	岐阜	1.8
45	滋賀	1.8
47	神奈川	1.6

【4. 労働】〇〇が多いが、同居して〇〇する夫婦も多い

「平成29年就業構造基本調査結果」から、新潟県の夫婦の形態についてみましょう。右のグラフは、夫婦の形態を4つに区分し、全体に対する割合、及び各形態のうち夫婦ともに有業の割合を示したものです。これによると、「夫婦と子供から成る世帯」「夫婦のみの世帯」を合わせると、全体の8割近くとなっており、いわゆる「核家族」が多いといえます。

また、各形態のうち「夫婦ともに有業の割合」をみると、親との同居世帯において夫婦共働き割合が高い（「夫婦、子供と親から成る世帯」では約8割、「夫婦と親から成る世帯」では約7割）ことがわかります。核家族と比べて、親との同居世帯の方が、夫婦共働き率が高い傾向にあるといえます。



(資料：総務省「就業構造基本調査」)

【5. 生活環境】〇〇の人数も多いけど〇〇も広い！

総面積が全国5位（令和元年10月1日現在）と、新潟県は広い県土を持っています（都道府県編／指標編 2頁「1 総面積」参照）。では、新潟県の住宅も広いのでしょうか？

「平成30年住宅・土地統計調査」による調査結果（下表）をみると、「1住宅当たり延べ面積」は全国5位、「1住宅当たり居住室数」及び「1住宅当たり居住室の畳数」はともに全国6位と、全国の中でも広いことがわかります。しかし、「1世帯当たりの世帯人員」も全国6位と上位に位置していますので、住宅も広いけれど家族の人数も多い、という傾向がみえてきます。では、1人当たりの広さはどうでしょう？「住宅の1人当たり居住室の畳数」は16.10畳（全国7位）と、比較的十分な広さがあるといえます。

項目	全国平均	新潟県	順位	【参考】順位47位の県
1住宅当たり延べ面積(㎡)	93.04	128.95	5	(東京都) 65.90
1住宅当たり居住室数(室)	4.42	5.54	6	(東京都) 3.26
1住宅当たり居住室の畳数(畳)	32.91	42.00	6	(東京都) 24.89
1世帯当たり世帯人員(人)	2.30	2.59	6	(東京都) 1.98
住宅の1人当たり居住室の畳数(畳)	14.11	16.10	7	(沖縄県) 11.16

(資料：総務省「住宅・土地統計調査」)